

子育てしやすい環境の整備

今 定例会は、25年度決算を審議するため特別委員会を設置（2頁参照）し、一般会計及び特別会計を慎重審議の結果、各会計とも原案どおり認定しました。

歳入 は、一般会計の市税で固定資産税が前年度と比較して2億5千769万9千円増、たばこ税が消費税率変更前の購入により3千452万4千円増などの要因により全体で、2億9千695万3千円の増収であった。

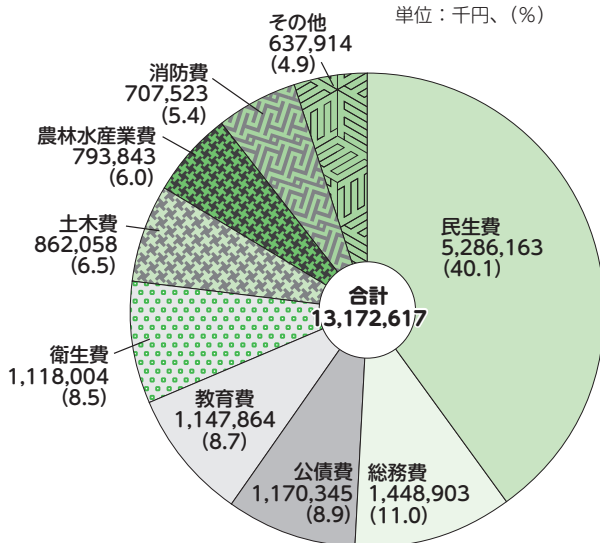
歳出 は、前年度に比べ民生費及び総務費が増となったものの教育費（日の出小学校建設終了）、消防費及び土木費が減になったことによるものである。

主 な事業費は、新日の出児童クラブ建設費約7千400万円、新白鳥保育所建設に伴う仮設園舎建設費6千100万円、十四山中学校屋外避難階段設置工事費約6千69万円など。

決算 総額は、一般会計と特別会計を合わせて歳入225億5千681万円、歳出216億4千203万4千円となりました。

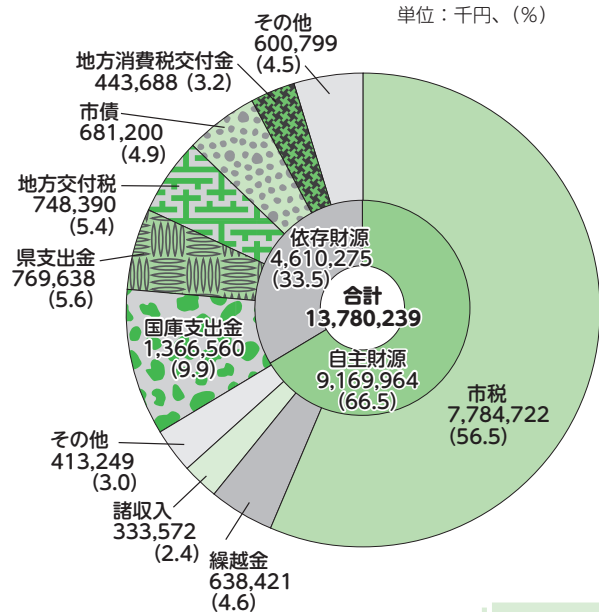
一般会計歳出

単位：千円、（％）



一般会計歳入

単位：千円、（％）



平成25年度

決算審査意見書

監査委員

片岡 明
伊藤 正信

決算審査に付された書類等は、法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、予算執行及び事務処理はおおむね適正に行われていると認められた。

25年度決算では、歳入の根幹をなす市税のうち固定資産税が、償却資産、新増築家屋の増及び市街化区域内の農地の宅地並み課税等の理由により増収したものの社会保障関係費、扶助費等の支出が増加し続け、厳しい財政状況が続いた1年であった。

25年度決算状況を詳細に分析し、限られた財源を効果的・効率的に配分することで持続可能な市政運営に努められ、第1次弥富市総合計画後期計画の着実な推進に取り組まれることを要望する。